

～FDAの人工トランス脂肪酸廃止の決定（2015年6月17日）に関して～

フレッド・クメローほどFDA人工トランス脂肪酸廃止の決定に喜ぶ者はいないだろう

ワシントンポストにトランス脂肪酸の研究をしている科学者（フレッド・クメロー）の記事が載っていました。

彼は100歳のイリノイ大学教授で、動脈を詰まらせる物質の危険性について60年以上にわたって警告を発してきた人物です。



<クメローの研究年譜>

1950年 大学で心臓病で死んだ人間の動脈からトランス脂肪酸を沢山見つける（クメロー）



1957年 動脈を詰まらせるトランス脂肪酸の危険性を警告する研究を出版（クメロー）



この後10年以上後、ショートニング、マーガリン中のトランス脂肪酸量を詳細に発表（クメロー）



1980年代でも、多くの科学者、関係者は、部分水素添加油【トランス脂肪酸の原因？】は飽和脂肪酸【動物性油】より良いと信じていた。



1990年代にトランス脂肪酸が増加している心臓病の主犯だという研究が増える。



1994年 公衆のための科学センターが、FDAにトランス脂肪酸の表示主張



2002年 アメリカ医学研究所が、トランス脂肪酸には安全なレベルがなく、可能な限り少なくすべき、と主張



2006年 食品ラベルへのトランス脂肪酸含有量を表示義務化（FDA）



2009年 FDAに請願提出（クメロー）

【トランス脂肪酸の悪い証拠が増えている、アメリカ人の食事から部分水素添加油を禁止するように提案】



2013年 4年経ったがヒヤリングがないので、FDA、保健福祉省を訴える（クメロー）



3ヵ月後 トランス脂肪酸は安全とは見なされず、効果的になくしていく計画を公表（FDA）



2015年6月16日 人工のトランス脂肪酸の食品への添加を3年以内に全廃すると発表。（FDA）

※製造業者は、食品に人工トランス脂肪酸を使うことはFDAに申請して認可された場合を除き、原則として禁止される。

（登場する機関）

FDA 食品医薬品局: アメリカ合衆国の政府機関。食品や医薬品等の許可や違反品の取締りなどの行政を専門的に行う。

アメリカ心臓協会: アメリカの患者支援団体。心血管障害、脳卒中の研究および、心肺蘇生教育に関する世界的情報発信団体であり、世界的権威でもある。英文の頭文字を取りAHAと呼ばれることもある。

CSPI (公衆のための科学センター): 食品安全、健康に関する情報を発信している団体

米国医学研究所: 1970年に設立された独立非営利の学術機関。研究会開催や報告書発行によって、健康や医療に関する議会や政府への助言を、政府から独立して行っている。

アメリカ合衆国保健福祉省: アメリカ合衆国の政府機関。全てのアメリカ人の健康を保護して、重要な社会事業を提供することを目的とした機関。FDAは、この中の部局の1つ。

ワシントンポスト 2015年 6月16日

フレッド・クメローは100歳のイリノイ大学教授で、動脈を詰まらせる物質の危険性について60年以上にもわたって警告を発してきた人物ですが、FDA（アメリカ食品医薬品局）の人工トランス脂肪酸廃止の決定を、彼ほど喜んでいる人はいないでしょう。

.....

クメローは2013年にFDAを訴えた。イリノイの自宅でインタビューに答えた。「科学は勝った」、「私たちの食事にトランス脂肪酸が含まれないことはとても重要だ」

1950年代、若かった大学の研究者クメローは、心臓病で死んだ人間の動脈を調べて確信した。動脈には人工トランス脂肪酸が多く含まれていた（それ以前に発見されており国中の加工食品に含まれていた）。

のちに、彼は人工トランス脂肪酸を与えたラットが動脈硬化を起こす研究を行った。エサからトランス脂肪酸を抜くと、動脈硬化が無くなった。クメローは動脈を詰まらせるトランス脂肪酸の危険性を警告する研究を1957年に出版した。

10年以上後に、アメリカ心臓協会の分科会で、ショートニング、マーガリン中のトランス脂肪酸量を詳細にした。そして、食品業界がトランス脂肪酸量を減らしてくれるだろうと確認した。

クメローの研究と警告にもかかわらず、人工トランス脂肪酸はそのままだった。

1980年代さえ、多くの科学者と関係者は、部分水素添加油が飽和脂肪酸より、良いと信じていた。

そして、食品業界は人工トランス脂肪酸を減らしたがいなかった。それは「安い」、「賞味期限を伸ばすことができる」、「望みの味と歯ごたえを食品にもたらし」という理由からだ。

「何年もかけて、グループを作って研究をしても、いつも同じような結果になる様でした。」

「結論を出すには、更なる研究が必要だ、ということでした。」

行動の無さにいらついて、クメローは2009年にFDAに請願を提出した。それには、トランス脂肪酸の悪い証拠が増えていること、そして、アメリカ人の食事から部分水素添加油を禁止することが提案されていた。

その頃は、彼は、ひとりで戦っているわけではなかった。

1990年代には、トランス脂肪酸が、増加している心臓病の主犯だという研究がどんどん多くなっていた。公衆のための科学センターは、1994年にFDAに表示を主張し、2006年には表示が義務化された。2002年、アメリカ医学研究所は「トランス脂肪酸には安全なレベルがなく、可能な限り少なくするべきだ」と主張した。

クメローがFDAに請願を提出して4年経っても、ヒアリングは無かった。

クメローは、FDAと保健福祉省を2013年に訴えた。

—

3ヶ月後に、FDAは、トランス脂肪酸は安全とは見なされず、効果的に無くしていくという計画を公表しました。火曜日（6月16日）の決定は、製造業者が3年以内に作りかえるか、例外として認めるよう申請するかの最終の決定です。

政府がほとんどのトランス脂肪酸を無くすことで、何千人もの命（訳注、1年で）救うことができる。クメローの次の仕事は、揚げた脂肪が代謝に与える研究を推し進めることです。

彼自身の食事では、コレステロールはそんなに気にしていない、というのも、コレステロールが心臓病の主犯ではないと思っているからです。

牛乳も飲み、卵も食べる。しかし、彼は、フライ物、マーガリンなど部分水素添加油が含まれる全てのものを食べないようにしている。

クメローは、彼の100歳の誕生日に誰かが持ってきたケーキの表示を見て、すばやく、トランス脂肪酸を含んでいることに気がついた。

「外に投げ捨てたよ」と冗談を言った。

「他にも食べるべきものはいっぱいある」